



平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 三国コカ・コーラボトリング株式会社

コード番号 2572 URL <http://www.mikuni-ccbc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 椎名 幹芳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 石川 幸治

TEL 048-774-3131

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	94,700	2.3	4,418	58.1	4,629	70.8	2,759	88.6
21年12月期第3四半期	92,545	—	2,794	—	2,711	—	1,463	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	57.15	—
21年12月期第3四半期	30.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	83,911	64,545	76.9	1,336.73
21年12月期	76,711	63,046	82.2	1,305.68

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 64,545百万円 21年12月期 63,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	12.00	—	12.00	24.00
22年12月期	—	12.00	—		
22年12月期(予想)				12.00	24.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	△1.0	4,500	27.3	4,500	27.3	2,500	24.0	51.77

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期3Q 53,555,732株 21年12月期 53,555,732株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 5,269,724株 21年12月期 5,269,274株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 22年12月期3Q 48,286,195株 21年12月期3Q 48,287,030株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成22年12月期の個別業績予想 (平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	106,000	△0.9	3,200	30.3	3,900	21.1	2,400	18.7	49	70

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の進行や海外経済の減速懸念などから企業収益や雇用情勢、個人消費に本格的な回復の兆しが見られず、景気の先行きに対する不透明感は払拭されないまま推移いたしました。

清涼飲料業界は、夏場の猛暑の影響から、業界全体の販売数量は1-9月で前年比プラス2~3%程度になったものと推測されます。しかし、市場全体のデフレ傾向は継続し、販売価格競争も更に激しさを増しており、依然として企業の収益が圧迫される厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは本年より新たな中期経営構想「**CHANGE³**」(チェンジ チェンジ チェンジ)を策定し、「夢に向かって進化するNo.1ボトラー」を中期ビジョンとして掲げ、経営基盤の更なる強化と改革・改善に取り組んでおります。

営業活動としては、重点チャネルであるフルサービス(自販機を当社が直接設置し、製品補充・売上金管理等を行う方式)のインドア(工場など、比較的利用者が限られている自販機設置先)マーケットにおいて、シェアの拡大を目指して、設置先の開発に重点的に取り組んでまいりました。もう一方の重点チャネルであるスーパーにおいては、販売機材や資材の設置を進めることで、売場箇所、取扱製品の増加を図り、店内シェア・販売の拡大に努めました。新製品・リニューアル等につきましては、「アクエリアス デイスタート」や「ファンタ ファンミックス」等の新製品を発売するとともに、「爽健美茶」や「い・ろ・は・す」に植物由来の原料を使用したペットボトル「プラントボトル」を導入するなど、環境に配慮した取り組みも推進いたしました。

コスト競争力強化の面では、資材調達・物流コストの削減、販売機材投資の効率化に引き続き取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は947億円(前年同期比2.3%増)、営業利益は44億18百万円(前年同期比58.1%増)、経常利益は46億29百万円(前年同期比70.8%増)、当第3四半期純利益は27億59百万円(前年同期比88.6%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて60億72百万円増加し410億80百万円となりました。これは主として、現金及び預金が59億73百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて11億27百万円増加し428億31百万円となりました。これは主として投資有価証券が17億30百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は前連結会計年度末に比べて62億24百万円増加し173億72百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が54億43百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて5億23百万円減少し19億94百万円となりました。これはリース債務が4億81百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べて14億98百万円増加し645億45百万円となりました。これは主として利益剰余金が16億円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ59億63百万円増加し122億26百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローについては、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは117億73百万円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益45億18百万円、減価償却費40億10百万円および仕入債務の増加54億43百万円による収入の増加と売上債権の増加17億47百万円による減少によるものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間と比較すると、47億84百万円（前年同期比68.5%）の収入増となりました。これは仕入債務の増加が主要因となっております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは43億43百万円の支出となりました。これは主に固定資産の取得による支出41億84百万円等によるものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間と比較すると、24億58百万円（前年同期比130.4%）の支出増となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは14億65百万円の支出となりました。これは主に配当金の支払額11億58百万円、リース債務の返済による支出3億6百万円等によるものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間と比較すると、3億83百万円（前年同期比20.7%）の支出減となりました。これはリース債務の返済による支出の減少が主要因となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、デフレ傾向の継続、景気の先行き不透明感などから、当社グループにとって予断を許さない状況が続くものと思われませんが、引き続き中期経営構想「**CHANGE³**」の重点活動である営業力の強化、コスト競争力の強化、人材育成の強化に注力してまいります。

なお、本年8月5日に公表いたしました平成22年12月期の業績予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,337	6,363
受取手形及び売掛金	9,851	8,103
リース投資資産	353	331
商品及び製品	4,386	4,791
原材料及び貯蔵品	390	424
前渡金	0	418
未収入金	2,691	2,249
預け金	10,000	—
短期貸付金	119	10,152
リース債権譲渡型債権	—	1,500
その他	988	704
貸倒引当金	△38	△31
流動資産合計	41,080	35,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,394	7,881
機械装置及び運搬具(純額)	1,322	1,182
販売機器(純額)	9,192	8,679
土地	8,435	8,541
リース資産(純額)	1,321	2,232
その他(純額)	464	934
有形固定資産合計	29,131	29,450
無形固定資産	732	844
投資その他の資産		
投資有価証券	9,678	7,947
その他	3,406	3,586
貸倒引当金	△84	△95
投資損失引当金	△32	△31
投資その他の資産合計	12,967	11,408
固定資産合計	42,831	41,703
資産合計	83,911	76,711

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,188	2,744
リース債務	421	850
未払費用	3,870	4,097
未払法人税等	1,527	1,209
賞与引当金	1,222	650
役員賞与引当金	34	44
その他	2,106	1,549
流動負債合計	17,372	11,147
固定負債		
退職給付引当金	—	0
役員退職引当金	26	46
リース債務	900	1,381
長期未払金	6	11
従業員長期未払金	961	954
その他	99	123
固定負債合計	1,994	2,517
負債合計	19,366	13,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,407	5,407
資本剰余金	5,357	5,357
利益剰余金	59,587	57,987
自己株式	△5,759	△5,759
株主資本合計	64,594	62,993
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△45	47
繰延ヘッジ損益	△3	5
評価・換算差額等合計	△48	52
純資産合計	64,545	63,046
負債純資産合計	83,911	76,711

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	92,545	94,700
売上原価	57,975	58,858
売上総利益	34,570	35,842
販売費及び一般管理費	31,775	31,424
営業利益	2,794	4,418
営業外収益		
受取利息	120	136
受取配当金	26	26
受取賃貸料	22	9
持分法による投資利益	43	260
雑収入	59	81
営業外収益合計	273	513
営業外費用		
支払利息	69	38
投資有価証券売却損	5	0
固定資産処分損	185	230
雑損失	95	33
営業外費用合計	356	302
経常利益	2,711	4,629
特別利益		
固定資産売却益	2	0
リース会計基準の適用に伴う影響額	184	—
子会社株式売却益	170	—
貸倒引当金戻入額	0	—
特別利益合計	357	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	39	11
固定資産廃棄負担金	21	—
減損損失	2	42
転籍一時金	—	3
投資有価証券評価損	47	37
会員権評価損	0	—
投資損失引当金繰入額	1	1
リース契約変更に伴う損失	99	—
賃貸借契約解約損	17	—
事務所退去費用	—	14
特別損失合計	230	111
税金等調整前四半期純利益	2,838	4,518
法人税、住民税及び事業税	1,454	2,043
法人税等調整額	△79	△284
法人税等合計	1,374	1,759
四半期純利益	1,463	2,759

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,838	4,518
減価償却費	4,716	4,010
減損損失	2	42
固定資産処分損益 (△は益)	225	242
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△0
役員退職引当金の増減額 (△は減少)	△2	△19
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3	△0
リース会計基準の適用に伴う影響額	△184	—
リース契約変更に伴う損失	99	—
転籍一時金	—	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	17	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	581	572
投資有価証券売却損益 (△は益)	5	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	47	37
子会社株式売却損益 (△は益)	△170	—
受取利息及び受取配当金	△146	△163
支払利息	69	38
長期未払金の増減額 (△は減少)	△2	△4
従業員長期未払金の増減額 (△は減少)	78	6
売上債権の増減額 (△は増加)	33	△1,747
たな卸資産の増減額 (△は増加)	363	439
前渡金の増減額 (△は増加)	735	417
仕入債務の増減額 (△は減少)	△543	5,443
その他	△213	△552
小計	8,546	13,279
利息及び配当金の受取額	166	285
利息の支払額	△69	△38
法人税等の支払額	△1,654	△1,753
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,989	11,773

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△10
定期預金の払戻による収入	300	—
固定資産の取得による支出	△3,832	△4,184
固定資産の売却による収入	13	77
投資有価証券の取得による支出	△2,308	△1,745
投資有価証券の売却及び償還による収入	315	29
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	202	—
投資有価証券の清算による収入	659	—
貸付金の増減額 (△は増加)	2,732	9,984
リース債権譲渡型債権の回収による収入	—	1,500
預け金の預入による支出	—	△10,000
その他	31	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,885	△4,343
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△689	△306
配当金の支払額	△1,158	△1,158
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,849	△1,465
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,254	5,963
現金及び現金同等物の期首残高	4,972	6,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,227	12,226

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める清涼飲料事業の割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。